

| 令和 6 年 第 3 回 嬉 野 市 議 会 定 例 会 会 議 録 |                 |                              |    |          |           |    |
|------------------------------------|-----------------|------------------------------|----|----------|-----------|----|
| 招 集 年 月 日                          | 令和 6 年 8 月 29 日 |                              |    |          |           |    |
| 招 集 場 所                            | 嬉野市議会議場         |                              |    |          |           |    |
| 開 閉 会 日 時<br>及 び 宣 告               | 開議              | 令和 6 年 10 月 4 日 午前 10 時 00 分 |    |          | 議 長 辻 浩 一 |    |
|                                    | 閉会              | 令和 6 年 10 月 4 日 午前 10 時 34 分 |    |          | 議 長 辻 浩 一 |    |
| 応（不応）招<br>議員及び出席<br>並びに欠席議員        | 議席<br>番号        | 氏 名                          | 出欠 | 議席<br>番号 | 氏 名       | 出欠 |
|                                    | 1 番             | 水 山 洋 輔                      | 出  | 9 番      | 宮 崎 良 平   | 出  |
|                                    | 2 番             | 大 串 友 則                      | 出  | 10 番     | 川 内 聖 二   | 出  |
|                                    | 3 番             | 古 川 英 子                      | 出  | 11 番     | 増 田 朝 子   | 出  |
|                                    | 4 番             | 阿 部 愛 子                      | 出  | 12 番     | 森 田 明 彦   | 出  |
|                                    | 5 番             | 山 口 卓 也                      | 出  | 13 番     | 芦 塚 典 子   | 出  |
|                                    | 6 番             | 諸 上 栄 大                      | 出  | 14 番     | 田 中 政 司   | 出  |
|                                    | 7 番             | 諸 井 義 人                      | 出  | 15 番     | 梶 原 睦 也   | 出  |
|                                    | 8 番             | 山 口 虎 太 郎                    | 出  | 16 番     | 辻 浩 一     | 出  |

|                                                       |                         |         |                   |  |
|-------------------------------------------------------|-------------------------|---------|-------------------|--|
| 地 方 自 治 法<br>第121条の規定<br>により説明の<br>ため議会に出席<br>した者の職氏名 | 市 長                     | 村 上 大 祐 | 健康づくり課長           |  |
|                                                       | 副 市 長                   | 早 瀬 宏 範 | 統 括 保 健 師         |  |
|                                                       | 教 育 長                   | 杉 崎 士 郎 | 子育て未来課長           |  |
|                                                       | 行政経営部長                  | 永 江 松 吾 | 福 祉 課 長           |  |
|                                                       | 総合戦略推進部長                | 小野原 博   | 農業政策課長            |  |
|                                                       | 市民福祉部長                  | 小 池 和 彦 | 茶業振興課長            |  |
|                                                       | 産業振興部長                  | 井 上 章   | 観光商工課長            |  |
|                                                       | 建 設 部 長                 | 馬 場 敏 和 | 農林整備課長            |  |
|                                                       | 教 育 部 長                 | 山 本 伸 也 | 建 設 課 長           |  |
|                                                       | 観光戦略統括監                 | 中 野 幸 史 | 新幹線・まちづくり課長       |  |
|                                                       | 総務・防災課長兼<br>選挙管理委員会事務局長 | 太 田 長 寿 | 環境下水道課長           |  |
|                                                       | 財 政 課 長                 | 中 村 忠太郎 | 教育総務課長            |  |
|                                                       | 税 務 課 長                 |         | 学校教育課長            |  |
|                                                       | 企画政策課長                  |         | 会計管理者兼<br>会 計 課 長 |  |
|                                                       | 広報・広聴課長                 |         | 監査委員事務局長          |  |
|                                                       | 文化・スポーツ振興課長             |         | 農業委員会事務局長         |  |
|                                                       | SAGA2024<br>推 進 課 長     |         | 代表監査委員            |  |
|                                                       | 市 民 課 長                 |         |                   |  |
| 本 会 議 に 職 務<br>のため出席した<br>者 の 職 氏 名                   | 議会事務局長                  | 筒 井 八重美 |                   |  |

## 令和 6 年第 3 回嬉野市議会定例会議事日程

令和 6 年 10 月 4 日（金）

本会議第 8 日目

午前 10 時 開 議

日程第 1 委員長報告（決算特別委員会）

日程第 2 討論・採決

議案第 57 号 令和 5 年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定について

議案第 58 号 令和 5 年度嬉野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

議案第 59 号 令和 5 年度嬉野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

議案第 60 号 令和 5 年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について

議案第 61 号 令和 5 年度嬉野市下水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分について

議案第 63 号 売買契約の締結について（追認）

日程第 3 議員派遣について

日程第 4 閉会中の付託事件について

---

午前 10 時 開議

### ○議長（辻 浩一君）

皆さんおはようございます。本日は全員出席であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第 1. 決算特別委員会委員長報告を議題といたします。

本定例会において決算特別委員会に付託いたしました議案第 57 号 令和 5 年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定についてから、議案第 61 号 令和 5 年度嬉野市下水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分についてまでの 5 件を一括議題といたします。

本件に関する委員会審査報告書はお手元に配付しております。朗読は省略して、委員会の審査の結果について委員長の報告を求めます。梶原睦也決算特別委員会委員長。

### ○決算特別委員会委員長（梶原睦也君）

皆さんおはようございます。それでは、決算特別委員会の報告をいたします。

嬉野市議会議長、辻浩一様、決算特別委員会委員長、梶原睦也。

決算特別委員会審査報告。

本委員会に付託された、議案第57号 令和5年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定について、議案第58号 令和5年度嬉野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、議案第59号 令和5年度嬉野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、議案第60号

令和5年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について、議案第61号 令和5年度嬉野市下水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分について、以上5議案のそれぞれの会計について、決算特別委員会で審査した結果を会議規則第107条の規定により報告いたします。

審査期間、令和6年9月24日から令和6年10月4日。

審査結果、議案第57号から議案第60号までは認定すべきものとする。議案第61号の利益剰余金の処分については可決すべきものとし、決算については認定すべきものとする。

審査の総合意見、令和5年度の決算審査は決算特別委員会を設置し、令和5年度嬉野市一般会計歳入歳出決算及び令和5年度嬉野市特別会計歳入歳出決算3件、令和5年度嬉野市下水道事業会計決算の計5件の議案について決算書及び決算資料に基づき、各分科会において各担当部署からの詳細な説明を受け、事情聴取を行い、慎重に審査をした。

また、平成27年度から分科会において現地調査を行っており、本年も現地調査を行い、内容ある決算審査に努めた。

令和5年度の国の経済は、コロナ禍を乗り越え改善傾向にあり、企業の賃上げや投資により、デフレからの脱却へ期待が高まっている。しかしながら、賃金の伸びが物価上昇に追いついていないため、個人消費や設備投資は依然として消極的な状況が続いている。

一般会計の歳入面では、コロナ禍からの緩やかな景気回復が見込まれ、市税は増加したものの、財政調整基金からの繰入金による財政調整も行われた。

前年度より歳入が減少した主な要因としては、制度改正や物価上昇によるふるさと応援寄附金の減少によるところが大きい。

歳出面では、新庁舎建設事業や令和3年8月豪雨の災害復旧事業や新型コロナウイルス感染症対策事業の継続の必要性とともに高齢化に伴う社会保障費が増大した。

今後においては、インバウンドや新幹線開業に伴う観光消費額の拡大及び商工業等の活性化による税収増に期待したいところである。

令和5年度嬉野市一般会計歳入歳出決算の歳入は、「地方交付税」「国庫支出金」「寄附金」「繰越金」が減少し、前年度に対し金額で8億9,559万5,000円、率にして4.2%減少し、205億775万7,000円となっている。

歳出は、総務費（ふるさと応援寄附金業務）、農林水産業費（農地生産基盤パワーアップ事業）、土木費（嬉野温泉周辺整備事業）、災害復旧費（令和3年8月豪雨復旧）が減少の主な要因であった。一方、民生費（電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金費、保育所・認定こども園等整備事業）や消防費（消防団員退職報償費）及び教育費（国民スポーツ

大会、全国障害者スポーツ大会）による増加となっている。決算額は前年度に対し金額で7億6,110万5,000円、率にして3.7%減少し、197億5,509万5,000円となっている。

歳入総額から歳出総額を差し引いた差引額は7億5,266万2,000円で、翌年度へ繰り越すべき財源1億5,931万円を差し引いた実質収支額は5億9,335万2,000円であった。前年度の実質収支額が7億7,881万円であり、前年度の実質収支額と比較した単年度収支額は1億8,545万8,000円の減となり、剰余金が前年度より赤字額分だけ減少した結果となっている。また、特別会計を含め繰越財源を除いた決算剰余金を全額翌年度へ繰り越しているため、基金への繰入額はなく、翌年度繰越額は実質収支額と同額の5億9,335万2,000円となっている。

一般会計における主要な財政指標については、財政力指数が0.379、実質収支比率が7.5%、経常収支比率が93.1%、実質公債費比率が8.7%となっている。

その中で、経常収支比率は、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するため、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを示す指標である。普通交付税や臨時財政対策債の減少により93.1%で前年度に比べ7.9ポイント増となった。また、実質収支比率は、一般的に3%から5%が適正とされており、令和5年度は7.5%で前年度と比較し2.4ポイントの減となり、前年度と比較して改善が見られた。

一般会計の歳入の財源について見てみると、自主財源の割合は、寄附金、繰越金などの減額により、前年度と比べ1億4,977万6,000円減少しているが、自主財源の構成比率は前年度に比べ1.1ポイントの増となっている。

依存財源は、地方交付税、国庫支出金などの減額により、7億4,581万9,000円減少している。

市税全体の収納率は、現年課税分と滞納繰越分を合わせた全体で94.4%となっており、前年度より0.9ポイント増加している。各税の徴収率においては、市民税が0.4ポイント増、固定資産税が1.8ポイント増、軽自動車税が0.5ポイント増で、いずれも収納率が向上している。

いずれにしても、滞納繰越しになってからの徴収は非常に難しくなる現状を踏まえ、担当課においては、納税相談などにより早期に個々の状況を把握し、適切で効果的な収納対策を行い、収入未済額の減少に努め、滞納繰越しや不納欠損とならないよう、さらなる徴収努力を求める。

次に、一般会計の歳出は、支出済額の総額が約197億5,509万5,000円で執行率が93.85%、不用額が6億4,971万4,000円発生しており、厳しい財政運営の中、減額補正が可能なものについては早急に対応し、財源の有効活用を求める。

令和5年度国民健康保険特別会計は、歳入の決算額が前年度に対し金額で2億6,916万3,000円、率にして7.0%減の35億5,522万8,000円である。歳出の決算額は、前年度に対し金額で2億8,893万8,000円、率にして7.8%減の33億9,436万6,000円となっている。減額の要因は、団塊世代の後期高齢者保険への随時移行により保険給付費が大幅に減少したことによ

るものである。

国民健康保険税の収納率は、現年課税分が前年比0.43ポイント増の96.03%、滞納繰越分が前年比4.67ポイント増の21.88%、合計では徴収率83.76%となっており、前年度と比較し1.29ポイント向上している。収納率は向上しているものの、市民税と同じく滞納繰越しになってからの徴収はかなり難しくなるため、現年度分の収納率向上に向けた努力を求める。また、国民健康保険制度の健全化のためには、医療費削減に向けた特定健診や一般会計による予防健診事業などの施策の充実を図り、その受診率向上に向けてさらなる努力を求める。

後期高齢者医療特別会計は、被保険者の増加により保険料が増加したことで歳入総額は前年比4.9%増の4億1,688万円となっている。歳出は、佐賀県後期高齢者医療広域連合への納付金の増などにより、前年比5.0%増の4億1,498万5,000円となっている。

嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計は、区画整理事業がほぼ完了したことで、歳入が前年比62.8%減の1億5,790万1,000円、歳出についても前年比55.1%減の1億5,366万5,000円となっている。

嬉野市下水道事業会計は、集合住宅などの新築が増加していることや管渠工事が終了し供用開始した地区の接続が進んでおり、水洗化率は75.48%と3.61ポイント増加している。

経営分析については、経常収支比率が107.13%で経常費用は経常収益で賄えているが、総収益の5割は一般会計からの補助金であることも忘れてはならない。また、経費回収率は57.06%、流動比率が52.64%、施設利用率が42.52%といずれも低い水準となっており、今後とも接続戸数の増加を図り、老朽化施設の計画的な更新を行うとともに経費削減に努められ、将来にわたり計画的かつより効率的な運営に努められたい。

次に、各担当課への指摘事項について述べさせていただきます。

#### 【総務・防災課】

- ① 消防団の報酬及び処遇改善、また消防団員の適正な定数見直しに関しては、引き続き消防団との協議を継続し、国が策定している基準に沿った見直しを行い、令和7年度に向け必要な条例改正及び予算措置を行うべきである。
- ② 職員採用の現状として、採用試験に合格した方の辞退者が増加傾向にあるようである。今後も官民を問わず人材獲得競争は激化していくことが見込まれる中、本市の初任給額では民間等と比較して見劣りする水準と言える。初任給額の引上げ等（在職者調整も含む）に関して処遇改善も含めて研究、検討を行い、人材確保の強化を図るべきである。

#### 【財政課】

公共施設等総合管理計画の改訂業務を実施されているが、引き続き、将来にわたる施設更新費のトータルコストの把握に努め、持続可能な公共施設等の管理を目指すこと。また、旧体育館跡地については、今後の活用や処分について検討中とのことであるが、他の市有財産とともに有効な活用と計画的な維持管理、また、売却等も視野に入れた施策

を講じるよう努めるべきである。

#### 【税務課】

相続財産管理人手続業務73万9,000円については、令和5年度は対象事例がなく未執行とのことであった。相続人不存在の事例は今後も発生していくことが考えられることから、業務知識の継承のためにも事例の研究、検討は継続的に実施することを求める。

#### 【企画政策課】

- ① ふるさと応援寄附金について、寄附者の志向の変化など様々な要因が考えられ、寄附額が減少している状況である。本市にとって非常に重要な財源であるので、減少しないように寄附額の確保について努力すること。また、返礼品納入事業者からの請求書の電子化について研究するなど、事業者の事務負担軽減に向けた検討を継続すべきである。
- ② 新幹線通勤通学応援金について、移住・定住（転出抑制）による人口増加を目指したものであり、継続的な実施が望ましいと考えられる。一方、現状は新幹線を利用できる学生の通学費補助の側面が大きく、人口増加への寄与の程度がはっきりしないと感じる。制度の趣旨に沿った制度設計に向け、整理検討を重ねることを求める。

#### 【広報・広聴課】

女性が輝くまちづくり推進事業について、セッション参加者同士の未来志向型の関係構築という成果に対し、一定の理解はできるものの、1,000万円をかける事業の成果としては十分とは言えない。令和6年度が事業の最終年度とのことであるが、まちづくりのあらゆる場面に女性目線を取り入れるという方向性や到達目標を再確認し、事業を推進すべきである。

#### 【文化・スポーツ振興課】

- ① スポーツライフ推進事業は、委託先とのイベントについては単なる健康増進イベントにとどまることなく、連携協力協定の事業内容として掲げられているスポーツ文化があふれる地域づくり、観光資源の有効活用、社会貢献などのより大きな視点を取り入れながらの事業推進を図るべきである。また、今後は連携協力協定の必要性も含めて検討されることを求める。
- ② 社会文化会館（リパティ）の使用料金について、高校生以下は市内料金の2分の1で市内外の区別がなされていない状況であり、現在、市外の高校生以下の利用が多くなっている傾向がある。市の財源で運営する施設であるので、市内の方の利用が優先となるよう、受益者負担の考えに基づき使用料金や申請開始時期の仕組みづくりを検討されることを望む。

#### 【福祉課】

- ① 緊急通報体制整備事業については、緊急通報装置を設置するために必要な固定電話の利用者が減少している社会状況も考慮し、今後はスマートフォンを活用した緊急通報シス

テムの導入に向けて検討すべきである。

- ② 障がい者施設職員就職支援事業及び介護施設職員就職支援事業については、前年度決算額と比較して増加しており、一定の成果は認められる。障がい者施設や介護施設においては人材不足が重要課題とされているため、事業所に対してもこの両事業の積極的な周知に努めるべきである。

#### 【子育て未来課】

子育て世帯生活支援特別給付金償還金（その他世帯及びひとり親世帯分）751万8,000円については、前年度国庫補助金返還金の予算計上がされておらず、扶助費からの予算流用や予備費からの充用が見られた。今後はチェック体制の見直しを行い、確実な予算計上を強く求める。

#### 【健康づくり課】

- ① 地域自殺対策強化事業については、支援者研修会や幅広いところの相談事業の実施により、自殺対策の強化につながっている。深夜の相談についても即時対応が求められるため、他の団体が実施されている相談窓口への転送等も検討しながら、相談体制の充実を図るべきである。
- ② 母子保健医療対策総合支援事業においては、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援が展開されている。対面相談が増えつつある状況だが、オンラインによる相談方法が煩雑であり、今後は簡素化に向けたシステム改修の検討を行い、充実した相談体制の構築に努めるべきである。

#### 【教育委員会】

- ① 校長先生の知恵袋事業については、その内容において形骸化している点も見られる。各学校長のプレゼンテーション内容に重点を置き、より特色のある学校づくりに寄与するような予算配分を求める。
- ② 遠距離通学費補助事業については、以前も指摘したが、補助金交付要綱において交付基準が曖昧である。保護者の負担軽減を図るためにも、対象児童・生徒に対し一律全額補助の検討を含め、補助金交付要綱の早急な見直しを行うべきである。

#### 【農業委員会】

- ① 農業者年金業務受託事業は、農業者の老後生活の安定及び福祉の向上とともに、農業者の確保に資するもので有効な事業である。受給者は多いが、令和5年度の新規加入者数はなかった。新規農業者、また農業後継者への農業者年金制度の加入促進に力を入れるべきである。
- ② 嬉野市内で遊休農地等が毎年増えている状況である。今後は、地域で話し合いを進め、認定農業者・法人・営農組合等を中心に遊休農地の削減等のため、地域計画を遅滞なく策定すべきである。

#### 【農業政策課】

- ① グリーンツーリズム推進事業は、県の中山間地チャレンジ事業を活用して、地域の人たち・観光協会等と連携をして研修が行われている。予算計上は2つの事業として計上しているが、1つの事業が未執行である。当初予算の策定において十分な考慮が必要である。
- ② 有害鳥獣による農作物被害を防除する対策として、ワイヤーメッシュ柵等の設置が積極的に行われ、一定の農作物被害は軽減することができている。しかし、有害鳥獣の市街地への出没や様々な被害が増えている現状を踏まえて、効果的な対策を望む。

#### 【観光商工課】

- ① 関西・中国地方都市圏対策事業は、当初の主要な事業の説明書では、明確に3か所の事業を計画しているが、決算においては1都市の事業に変更になり、重点的に予算を投入し、1つの事業は未執行である。また、当初の主要な事業の説明書には計画等の掲載があったが、決算における主要な施策の成果説明書には説明書そのものがない。急遽変更の可能性を全く認めないことではないが、今後は事業を大きく変更する場合は、説明並びに事務処理を明確にすることが必要である。
- ② 嬉野版DMO支援事業は、観光立市にとって重要かつ戦略的に観光活性化に資する観光組織を支援する事業である。しかし、事業組織の運営は観光協会との違いが理解できにくい事業であり、嬉野版DMOの役割を明確にすることを求める。
- ③ 嬉野地域力開発プロジェクトは、会議の各チームにおいて、分野ごとに研修、協議を重ね、観光誘客及び観光消費額の増大のため、観光産業化活性化事業に取り組んでいるが、チーム全体の活動状況が捉えにくい。一度、チームの再編成も視野に入れ、全体の地域力で地域資源の開発と観光産業の発展につなげることを望む。
- ④ 地域資源活用対策事業は、観光事業者や商工業者が地域の魅力を最大限に引き出すために日本トップレベルの講師陣を招いた「うれしの未来づくり塾」を開催し、人材の育成に努めているが、参加する市民の受講者が少ない。さらに、市民全体へ受講者の参加を促して、時間を要する人材育成の事業を続けていくことを望む。

#### 【新幹線・まちづくり課】

- ① 地域公共交通適正化支援業務は、地域住民の重要な交通手段であるが、サービス水準と財政支出に不均衡が生じている現状を踏まえて、塩田地区においては乗り合いタクシーが検討されている。今後は、地区住民の利用を促すような対策を望む。
- ② 新幹線嬉野温泉駅周辺のまちづくりについては、市としての駅周辺整備が完了している。駅前広場では子どもたちや市民が集い、歓声の聞こえる空間に整備することを望む。また、駅東口の区画整理事業は換地処分の終了により、分譲地の開発が行われている。今後は、市の保留地処分を最優先に考え、事業完了に努めるべきである。

### 【環境下水道課】

地域脱炭素事業は、地球温暖化の進行に伴い今後災害のリスクが高まり、社会活動や地域産業に影響を及ぼしており、早急な対策は不可欠なものとなっている。当市は、2050年までのゼロカーボンシティを表明し、目標達成に向けて全力で取り組む計画はできているが、具体的な行動をK P Iに沿って推進されるべきである。

### 【茶業振興課】

- ① うれしの茶P R活動推進事業は、うれしの茶活性化委員会でうれしの茶P Rキャラバン隊を結成し、主要都市等で試飲販売等の活動を進められているが、今後は、うれしの茶の販売実績等の効果を検証し、さらに実のある事業となることを望む。
- ② 農地再生支援事業においては補助対象面積が決められており、補助対象面積要件以下の面積の耕作放棄地も多く見受けられる。荒廃農地の発生防止、再生及び利用促進のためにも実施事業の対象面積の緩和等見直しを求める。

### 【建設課】

市内の道路上において、かぶり木による交通障害や信号や標識など見えづらい箇所もある。私有地から道路上に張り出している樹木は土地所有者に所有権があるため、緊急時以外は伐採できない現状であるが、市道の通行の安全を図るために森林環境譲与税等を用い、地域の実情に応じた幅広く弾力的な実施ができないか、検討を求む。

### 【農林整備課】

- ① 農村地域防災減災事業においては、ため池決壊時のハザードマップを作成し、地域住民に公開することによって自主防災意識の向上につながっている。また、老朽化した危険ため池の廃止等、代替水源工事を行い、災害時のリスク軽減が図られている。農村・中山間地における農地と生活の安全を維持するため、国への要望を含め早急な整備を求める。
- ② 森林環境事業においては、森林経営計画意向調査の結果による管理検討希望の山林について現地調査を行い、事業の目的である森林整備により森林資源の適切な管理が行われているが、林道において私有林におけるかぶり木や倒木が多く見られ、通行の危険もある。森林環境譲与税の災害防止・国土保全の機能強化の観点から森林整備を目的とするものであり、かぶり木伐採等の林道保全にさらに活用されることを望む。

以上のように慎重な審査を行いました。

委員会の全体会において全ての質疑を終了した後、本委員会に付託されたこれらの会計において、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地地区画整理事業費特別会計、下水道事業会計の5件については、その決算を認定すべきものとししました。また、下水道事業会計の利益剰余金の処分については可決すべきものとして、全て全員一致で決定をいたしました。

まとめです。

令和５年度は、駅周辺事業や令和３年８月豪雨災害による復旧事業、新型コロナウイルス感染症に対する関連事業などが引き続きあったため、決算総額は歳入歳出ともに過去最大だった令和４年度を下回るものの、平時には戻ったとは言えない中、事業展開に鋭意努力された。しかしながら、地方財政を取り巻く環境はさらに厳しくなっており、多様化する市民のニーズに応えるためにも、今以上に効率的な行政運営が求められる。

また、設置から10年以上経過している設備等に関しては、計画的に保存点検等を行い、予算化に努められたい。さらに、監査委員からも指摘があるように、補助金返還事務の遅れ等の事例も見受けられた。予算流用や予備費充用が生じないようチェック体制の強化に努め、慎重運用を図られたい。

今後は、市長をはじめ執行機関におかれては、これらの指摘事項について十分検討の上、適時適切な処置を講じられるよう求めるものである。

最後に、今後もさらに厳しい財政運営となるが、「第２次嬉野市総合計画」の着実な実行の下、「歓声が響きあう嬉野市」を目指し、市民の福祉向上と嬉野市が未来へ輝き続けるための行政運営になお一層努力されることを期待し、委員会報告といたします。

以上でございます。

#### ○議長（辻 浩一君）

以上をもって決算特別委員会委員長の報告は終わりました。

日程第２．討論・採決を行います。

議案第57号 令和５年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定についてから議案第61号 令和５年度嬉野市下水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分についてまでの５件については、さきの決算特別委員会委員長からの報告のとおり、全ての会計の決算は認定であります。また、議案第61号の利益剰余金の処分については可決であります。よって、討論を省略して、一括して採決を行います。

本決算は、委員会報告のとおり認定及び可決することについて、賛否の投票を求めます。それでは投票してください。

〔押しボタン式投票〕

投票を締め切ります。全員賛成であります。したがって、議案第57号 令和５年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定についてから議案第61号 令和５年度嬉野市下水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分についてまでの本決算は、いずれも委員会の報告のとおり認定し、議案第61号については、認定及び可決することに決定をいたしました。

次に、議案第63号 売買契約の締結について（追認）の討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討論なしと認めます。これで議案第63号の討論を終わります。

議案第63号について採決をいたします。

議案第63号を原案のとおり決定することについて賛否の投票を求めます。それでは、投票してください。

〔押しボタン投票〕

投票を締め切ります。全員賛成であります。したがって、議案第63号 売買契約の締結について（追認）は可決をいたしました。

日程第3．議員派遣についてを議題といたします。

お諮りします。嬉野市議会会議規則第163条の規定により、お手元に配付しておりますとおり、議員を派遣したいと思います。また、閉会中において議員派遣を行う必要が生じた場合、その日時、場所、目的及び派遣議員等の諸手続については議長に一任いただきたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議員派遣についてはそのように決定をいたしました。

日程第4．閉会中の付託事件についてを議題といたします。

このたび議会運営委員会委員長、文教福祉常任委員会委員長及び各特別委員会委員長からお手元に配付しました別紙付託文書表のとおり、閉会中もなお継続して調査をしたいとの申出がありました。

お諮りいたします。各委員長から申出のあったとおり、閉会中、継続調査とすることについて御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、各委員長から申出のとおり、閉会中の付託事件は継続調査することに決定をいたしました。

以上で本定例会に提出されました議案の質疑、討論・採決など全ての日程が終了いたしました。

お諮りします。本定例会において議決されました各議案については、条項、字句、数字、その他の整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決定をいたしました。

会議を閉じます。

令和6年第3回嬉野市議会定例会を閉会いたします。

午前10時34分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 辻 浩 一

署名議員 川 内 聖 二

署名議員 増 田 朝 子

署名議員 森 田 明 彦